

第554号 2011年8月21日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか 志村 たかよし です



原発ゼロ！ 核兵器ゼロ！

「2011年原水爆禁止世界大会・長崎」に参加



長崎市民体育館の第2会場まであふれた総会

広島と長崎に原爆が投下されてから66年をむかえた今年の「原水爆禁止2011年世界大会・長崎」は、8月7日～9日まで開かれ、国内外の代表7800人が集まりました。私（志村）は党区議団を代表して4年ぶりに参加しました。今年の大会は、青年や学生の参加が半数を超え、核廃絶と平和を願う運動の広がりを感じました。開会総会では、田上富久長崎市長があいさつしました。

国連事務総長からメッセージ

海外政府代表は7カ国とアラブ連盟。草の根で活動する海外の代表は25カ国・88人。メッセージは7カ国政府から寄せられました。

国連事務総長代理として参加した国連軍縮問題担当上級代表のセルジオ・ドゥアルテ氏が挨拶し、潘基文（パンギムン）国連事務総



「原発ゼロ 核兵器ゼロ」と訴える被災地の代表団



開会総会であいさつする 田上富久長崎市長

長の「（世界大会は）発展しつつある歴史的プロセスへ人々の参加を促している」「みなさんをパートナー」とともに活動できることを誇りに思います」というメッセージが紹介されました。

原水禁世界大会が、国連・諸国政府と反核運動の共同の場として国際社会から広く認められていることを実感しました。

「原発ゼロ」の運動と連帯へ

舞台では、「原発ゼロ 核兵器ゼロ」の横断幕を掲げた東北の各県代表のあいさつもありました。

原水禁世界大会は、思想信条の違いを超えて「核兵器廃絶」と「被爆者援護」を一点にした運動をすすめてきましたが、福島第1原発事故をうけ、大会は「どん



で、志位和夫委員長は「共同の力で『核兵器のない世界』をつくりましょう」と挨拶しました。



平和公園の平和祈念像の前は、次々と記念写真を撮る人たちでいっぱい。像の絵を描く子どもたちもいました。

果たさせなければと強く思いました。なお、私は、米軍佐世保基地を視察する「佐世保行動」（8日）に参加しましたので、次号でご報告いたします。

な形であれ放射線被害者をつくらない」という共通の願いにたつて、原発からの撤退をめざす運動との連帯を表明しました。

閉会総会では「核兵器全面禁止のアピール」国際署名の運動で巨大な波をつくりだすことと、「原発からの撤退」を求める運動との連帯をよびかける決議「長崎からよびかけ」を採択しました。

菅首相が核兵器廃絶を「究極的」と先送りする発言をするなか、日本政府のこうした態度をあらためさせ、被爆国にふさわしい役割を

海外代表の方たちの発言

★キューバ：アンドレス・G・バジェステル臨時代理大使
キューバは核兵器禁止条約をつくるのが最優先課題になっていると指摘し、核兵器に使われている世界の資金を人々に使えば貧困や飢餓から救えると話しました。

★エジプト：ワリード・マームド・アフデルナーセル大使
中東で非核兵器地帯を設置することが核兵器廃絶につながると強調し、核軍縮に向けた国際的な協力がすすんでいるとのべ、「みなさんが積極的な役割を果たしている」と激励しました。

★メキシコ：セルジオ・ゴンサレス・ガルベス名誉終身大使
核兵器廃絶を達成するためには「核兵器保有国が核兵器を持つことは安全で、そのほかの国が持つことは危険だ」という考えはなくなさなければならぬ、とのべました。



★アラブ連盟：モハメド・エゼルディン・アブデルモネイム軍縮・戦略問題特別顧問
核兵器は、全面的になくす以外に拡散はとめられない、と語りました。また、福島第1原発事故は原子力エネルギーについての国際的な課題を投げかけていると提起しました。

（他にも、たくさんの方々が発言しました）

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください（03-5561-6300）